

今月のことば

私以外 みんな 私の先生

(釈秀章)

龍谷大学非常勤講師 小池 秀章 こ いけ ひで あき

上の言葉は、吉川英治（作家）さんの「我以外 皆我師也」という言葉を、分かりやすく表現したものです。この言葉によると、私以外は、みんな、私を導いて下さる先生（師）だということです。このような受け取り方は素晴らしいと思いませんか。ところが、普段、私たちが周りの人をどのように見ているかと言えば、「いい人・悪い人」「好きな人・嫌いな人」「役に立つ人・役に立たない人」というように、自分を中心に勝手に判断してしまっています。

中国のことわざに、「弟子に準備が整った時、師は現われる」というものがあるそうです。私に学ぼうという準備が整っていないければ、師が近くにいても師だとは思わないのです。私に準備が整った時、初めて師を師として仰ぐことが出来るのです。仏教には「善知識」という言葉があります。善知識とは「私を正しい道（仏のさとりの道）に導いてくれる人」という意味です。私は、仏教を教えてくださった大学の先生方はもちろんのこと、両親を初め、多くの方々のお蔭で、仏の教えに遇わせていただきました。また、私が感謝しているそのような人たちの関わりの中で、仏の教えを味わわせていただくこともありました。つまり、私以外の人は、皆、私の善知識だったのです。

常に、このように受け取れることは難しいかもしれませんが、「私以外、皆私の善知識（私以外、みんな私の先生）」という言葉

合掌